



タンクローリー軽油配達の様子（上）
ガス供給設備工事の様子（下）

- 本社所在地：沖縄県名護市
- 事業概要：LPガス・灯油等の燃料販売及び、ガス機器・住宅設備機器等の販売及び、外食事業
- 常時使用する従業員：351名
（グループ全体・2026年1月時点）
- 現在の売上高：36億円
（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：1360001012164
- Web：https://www.yamako-s.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山端 康成

【企業理念】～幸せ発信企業～

弊社グループは昭和35年に地域の生活向上をめざし、燃料エネルギーの地域パイオニアとして家庭・産業用石油類販売からスタートしました。その想いは、今「幸せ発信企業」という理念となり、我々グループの全ての活動の根幹にあります。沖縄は今、大きな成長の時を迎えています。しかし、その成長を支えるインフラは、供給力不足と担い手不足という大きな課題に直面しています。このままでは、沖縄の成長は止まってしまう。地域に育てられた我々が、今こそ立ち上がらねばならない。グループの総合力で沖縄の未来を支え、地域社会に貢献してまいります。従業員とその家族、そして愛する沖縄の全ての人々と、幸せの輪を拡げ続けることを、ここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年のグループ売上高100億円の達成に向け、砕石事業を核とした生産能力強化およびグループシナジー戦略の高付加価値化を起点に、成長戦略をグループ一体で推進する。



課題

- ・インフラ需要に対応した砕石生産能力の不足
- ・労働集約型モデルからの脱却による持続的な成長
- ・限定的なグループシナジーによる成長ポテンシャルの未活用
- ・社会的責任として環境配慮・社会貢献と事業成長の両立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・スマートプラントの建設による砕石生産能力の大幅強化
- ・砕石×エネルギーのクロスセル戦略による顧客価値の最大化
- ・リサイクル事業の立ち上げによる循環型ビジネスへの領域拡大
- ・事業者向けLNG供給の拡大および灯油配送システムの高度化
- ・生コン業者やガス業者へのM&Aによる非連続な成長
- ・多能工化やリスクリングを柱とした人的資本経営の推進

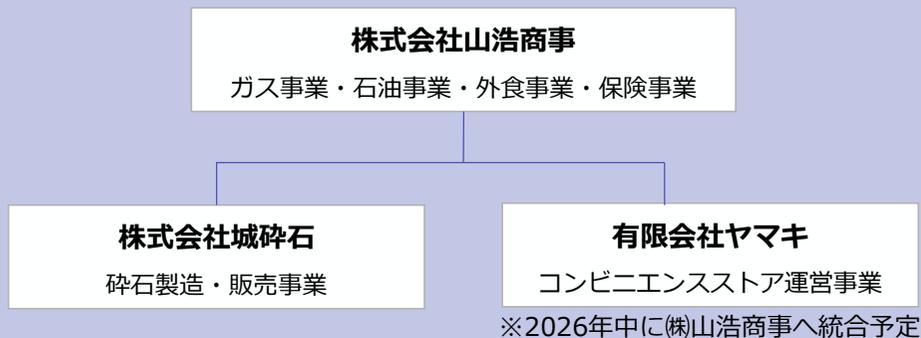
実施体制

- 社内体制
 - ・グループ横断の成長戦略プロジェクトチームを設置
 - ・事業拡大を支える専門人材や次世代リーダーの確保・育成
 - ・フィジカルAIやAIエージェント活用に向けたIT人材の育成
- 社外体制
 - ・沖縄県や名護市との連携による地域貢献と事業機会の創出
 - ・金融機関等からのM&Aやガバナンス強化に関する専門的助言
 - ・教育機関との連携による人材育成・採用パイプラインの構築

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標とグループ体制

【グループ体制】



(株)山浩商事は、当社グループの中核企業として、LPガス・LNG・石油製品の供給を通じて地域のエネルギーインフラを担っている。一般家庭から事業者、官公庁まで幅広い顧客基盤を有し、安全管理体制と安定供給力を強みとしている。また、外食事業（モスバーガー(5店舗)・らあめん花月(2店舗))の運営等を通じ地域住民との接点を持ち、生活インフラの一翼を担っているほか、保険事業により顧客のリスクマネジメント支援も行う。

(株)城碎石は、沖縄県北部に鉱山を保有し、砕石・骨材の製造販売を行う企業である。公共工事や民間建設工事に不可欠な基礎資材を供給し、地域インフラ整備を支える重要な役割を担っている。

(有)ヤマキは、地域に根差したコンビニエンスストア運営を展開している。沖縄県北部1号店としてローソンの初出店を担うなど、日常生活に密着したサービスを提供。2026年中に株式会社山浩商事へ統合予定であり、経営資源の集約と管理体制の効率化を図ることで、グループ全体の意思決定スピードと経営効率の向上を目指す。

【グループ売上高】

